

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- 故障したら使わない
動作がおかしくなったり、マイクロホンコードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

● 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

① 電源を切る

② お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

警告

火災 感電

下記の注意を守らないと、**火災・感電により大けがの原因**となります。

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止



注意

けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

下記の注意を守らないと、

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買いあげ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

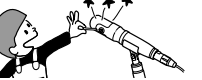


幼児の手の届かない場所に置く

けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- +とーの向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。液が漏れたときは、修理が必要になることがあります。

主な仕様

定格	ステレオ（Mid-Side方式）
型式	エレクトレットコンデンサー型（バックエレクトレット方式）
本体出力コネクター	キャノンXLR-5-12Cタイプコネクター
最大外形寸法	約40×183mm（最大径×長さ）
質量	約330g（乾電池、コード含む）
付属品	ウインドスクリーン（1） マイクホルダー（PF1/2㌕）（1） マイクスタンド（1） マイクロホンコード（直径約4mm、長さ約2m、OFC2芯シールド、金メッキ型ステレオミニプラグ付き）（1） ソニー単3形マンガン乾電池R6P（1） キャリングケース（1） 取扱説明書（1） 保証書（1）

性能

JIS C5502マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。

周波数特性 50～18,000Hz

指向特性 単一指向性×2（指向主軸角90°、120°切り換え式）

出力インピーダンス 600Ω±30%不平衡型

正面感度 開回路電圧レベル*1-42dB±3dB（指向主軸角120°のとき）
L、Rチャンネル感度差3dB以内

電源関係 電源：単3形（R6P）乾電池1本
基準動作電圧：1.5V
最低動作電圧：約1.1V
連続持続時間：ソニー単3形マンガン乾電池R6Pで約2,000時間

雑音 信号対雑音比：69dB以上（1,000Hz、1Pa）
自己雑音*2（等価入力音圧換算）：25dB_{SPL}以下
風雑音*3（ウインドスクリーン使用）：45dB_{SPL}以下
外部磁界の誘導雑音*4：10dB_{SPL}以下

最大入力音圧レベル*5 115dB_{SPL}以上

ダイナミックレンジ 90dB

許容動作温度 0°～40℃

許容保存温度 -20°～60℃

*1 0dB=1V/Pa、1,000Hz（1Pa=10μbar=94dB_{SPL}）
推奨負荷インピーダンス3kΩ以上

*2 0dB_{SPL}=2×10⁻⁵Pa

*3 マイクロホンの各方向に風速2m/sの気流をあてたとき、マイクロホンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。

*4 50Hz1x10⁻⁷Tの交番磁気中にあるマイクロホンに誘起する最大雑音を等価入力音圧に換算した値。

*5 マイクロホン出力信号が1,000Hzで1%の波形ひずみを生じる入力音圧レベル。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support		
使い方 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS…一部のIP電話・0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
修理 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS…一部のIP電話・0466-31-2531	

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

SONY

3-859-112-04(1)

エレクトレットコンデンサーステレオマイクロホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ECM-MS957

Sony Corporation © 1996 Printed in Japan

主な特長

このマイクは、DAT、MD（ミニディスク）、NT（デジタルマイクロレコーダー）などのステレオレコーダーに接続して、器楽演奏や会議の収録など、いろいろな用途にお使いいただくことができます。

- ターニングカプセル機構搭載により、軸方向収音と径方向収音の2通り収音方法が楽しめます。
- Mid-Sideステレオシステムの採用により、優れた音像定位と、中抜けのない明瞭なステレオ収音ができます。
- 収音する対象により、指向主軸角(ステレオ拡がり角)を90°と120°の2段階に切り換えることができます。

正しくお使いいただくために

- マイクロホンは敏感なものです。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 高温多湿の場所、特に温度が60℃以上のところでの使用、保存は避けてください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると“ピー“という音が発生することがあります(ハウリング現象)。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。

乾電池の入れかた

1 ケースを回します。

2 ケースを引き抜きます。

3 単3形乾電池を1個入れます。

電池の交換時期
乾電池が使える状態のときは、電源を入れると、バッテリーチェックランプが一瞬光ります。光りかたが暗かったり、光らなかったりした場合には乾電池を交換してください。マイクの連続使用可能時間は約2,000時間です。(ソニー乾電池R6P使用)

乾電池についてのご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- +**と●**-**の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い時間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。

液もれが起こったときは*、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

* 液もれが起きると修理が必要になることがあります。お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

各部の名称と使いかた

コネクター
取り付けるときは、カチッと音がするまで差し込みます。

はすすときは、押しながら引き抜きます。

ウインドスクリーン
マイクにかぶせ、風や息が直接あたるときに発生する“ポコポコ”という雑音を減らします。

バッテリーチェックランプ
電源／指向主軸角切り換えスイッチをOFFから90°にすると、一瞬光り、電源の状態を知らせます。光りかたが暗かったり、光らなかった場合には乾電池を交換してください。

マイクホルダー
別売りのマイクスタンド (PF1/2ねじ)にも取り付けすることもできます。

固定ねじ
マイクの向きを決めたあと、ねじを回して固定します。

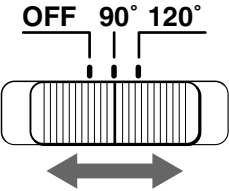
ステレオL型ミニプラグ
DAT、MD、NTなど、接続する機器のマイク端子につなぎます。

グリップ
図のようにハンドマイクとして使えます。固定ねじをゆるめてマイクスタンドから取りはずします。

電源／指向主軸角切り換えスイッチ
収音する対象により切り換えます。

OFF	電源が切れます。
90°	小さな音源、拡がり感の少ない音源を収音するとき。 (器楽のソロ演奏、鳥や虫の声など)
120°	大きな音源、拡がり感のある音源を収音するとき。 (オーケストラ、コーラス、列車、カーレースなど)

上の表の内容は目安です。
お客様の好みに合わせて切り換えてください。



ターニングカプセルつまみ
音源の方向により、ターニングカプセルつまみの向きを調節します。図のようにターニングカプセルつまみを指で挟んで突起部を音源に向けてください。

マイクを立てて使う (径方向収音)

より正確な収音ができます。音声モニターをしながら録音機器側で音質調整をしたあとでお使いください。

マイクを寝かせて使う (軸方向収音)

こまかい調整なしで、より失敗のない収音ができます。

マイクスタンド
図のように脚を広げます。

1

2

3